平成 30 年度　秋期　情報セキュリティマネジメント試験　解答例

午後試験

問題	設問	枝問		正解	備考
問 1	設問 1			ア	
	設問 2			イ	
	設問 3	(1)	a	オ	
		(2)	b	ウ	
	設問 4	(1)		ウ	
		(2)		オ	
	設問 5	(1)		ウ	
		(2)	c	エ	
		(3)	d	ウ	
		(4)	e	ウ	
		(5)	f	ウ	

問題	設問	枝問		正解	備考
問 2	設問 1	(1)		ア	
		(2)		エ	
		(3)	a	ア	
			b	キ	
		(4)		アウ	
		(5)		アイウ	
		(6)	c	イ	
			d	キ	
			e	オ	
			f	ア	
		(7)	g	イ	

問題	設問	枝問		正解	備考
問 3	設問 1			ケ	
	設問 2	(1)		エ	
		(2)	a	ウ	順不同
			b	キ	
	設問 3			エ	
	設問 4	(1)		エ	
		(2)		ア	
		(3)	c	カ	
			d	オ	

問１

出題趣旨
インターネットを介した金融取引が普及し，定着する中で，取引に関する情報を入手した上で金銭を詐取する詐欺事例が報告されている。被害企業の担当者に偽の電子メールを送り付け，だまして攻撃者の用意した口座に振り込ませるという詐欺の手口は BEC（Business E-mail Compromise，ビジネスメール詐欺）と呼ばれる。この手口は，被害額が多額になる傾向にあり，警戒が求められている。 本問では，BEC の被害に遭遇した企業を舞台に，振込手続，及び取引先との電子メールのやり取りを題材として，情報セキュリティリーダが会計システム及び振込手続におけるリスクを特定し，適切な対応策を導き出すための知識と洞察力を問う。

問２

出題趣旨
情報セキュリティ対策は，リスクの大きさ，情報システムの環境，対策の有効性，コスト，運用の負荷などを考慮して検討することが求められている。そのため，利用部門において情報セキュリティを推進する立場にある情報セキュリティリーダにも，同様の配慮が求められる。 本問では，情報セキュリティ点検を受けた結果を基に改善を行っていく状況を設定し，情報セキュリティリーダに必要となる，複数の改善策の中から最も適切な改善策を選択する能力を問う。さらに，選択した改善策を，業務への影響を考慮した上で導入していくための手順について検討する能力を問う。

問３

出題趣旨
近年，標的型メール攻撃が増えており，マルウェア感染による個人情報漏えいや金銭詐取といった被害が急増している。様々な対策の一つに，標的型メール攻撃への対応訓練がある。訓練では，組織の業務内容，メールシステム，情報セキュリティ対策の状況，訓練の目的などに応じた計画を立案する必要がある。 本問では，派遣及び転職を支援する人材サービス会社における標的型メール攻撃への対応訓練を題材として，情報セキュリティリーダに必要となる，適切な訓練計画を立案する能力及び訓練で明らかになった課題に対する解決策を検討する能力を問う。